

⚠️ 自転車に乗る前は必ず点検を行ってください

乗車前の点検で避けられた事故が発生しています。

事例

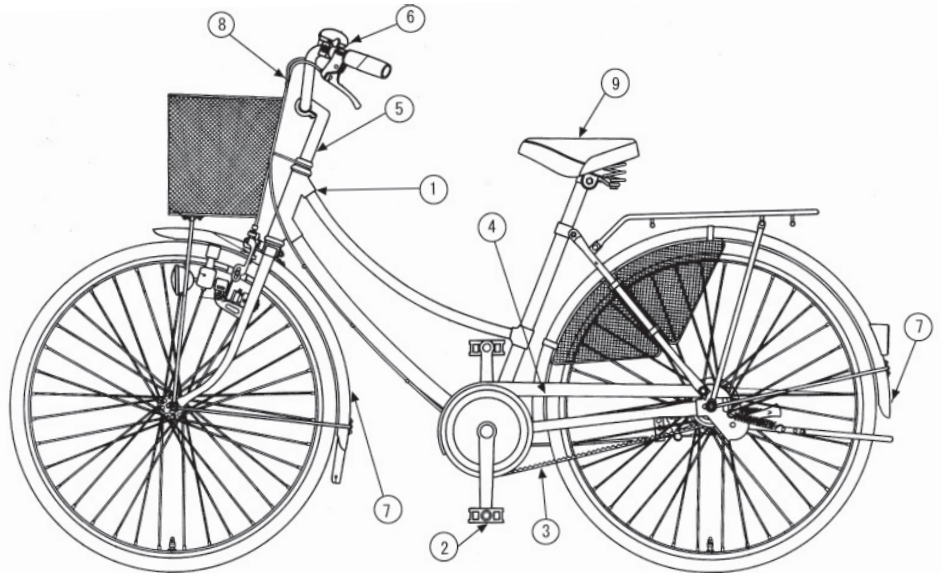
自転車で走行中、左カーブを曲がろうとしたところ、突然ギアがかんで漕げなくなって転倒し、ケガを負った。(平成20年8月 神奈川県)

原因

チェーン及びギア（5段変速）がさびた状態のまま自転車で乗っていました。チェーン等の注油や点検などを怠っており、そのためにチェーンのコマの動きが悪くなって歯飛びを起こしてチェーンが外れたものです。

✓ チェックポイント

乗車する前に、自転車の各部位の点検を行ってください。異常を発見したら必ず販売店などで自転車安全整備士、自転車技士または同等の技能を有する者による点検を受けてください。特に自転車が衝突や転倒などによる衝撃を受けたときは、必ず点検を受けてください。



JIS D 9101(自転車用語)参考付図自転車の各部の名称「(2)軽快車」より一部変更して引用

- フレーム(①)に亀裂やひどいさびが発生していないか。
- ペダル(②)のガタツキはないか。
- 前輪・後輪のクイックリリースやハブナットにゆるみがないか。
- チェーン(③)にたるみがないか、摩耗していないか、ひどくさびついていないか。
チェーンがチェーンケース(④)に接触していないか。
- ハンドルステム(⑤)のはめ合わせ限界標識が隠れており、かつ、確実に締まっているか。
- ブレーキレバー取り付け部(⑥)のネジ、ブレーキ取り付け金具、ブレーキブロックの取り付けにゆるみがないか。
- 泥よけ(⑦)の曲がりや外れがないか。
- ブレーキワイヤ(⑧)が伸びてブレーキレバーを握ったときハンドルバーに接触していないか。
ブレーキワイヤにさび、外れがないか。
- サドル(⑨)のシートポストのはめ合わせ限界標識が隠れており、かつ、確実に締まっているか。



自転車の製品事故防止のために

- ◆スポークや前ホークに異物を巻き込んだことで、ロックがかかったような状態になって転倒する事故が発生しています。
傘、ステッキ、釣り竿などを車体に差し込んだり、長く垂れ下がるものをつり下げたりしないでください。ハンドルに物をぶら下げたり、ライトを点灯させるときにダイナモ（発電器）を足で操作するなどして足がスポークに触れないようにしてください。
- ◆自転車の使用を始めて1年未満の使用者に多くの製品事故が発生しています。
新しい自転車を購入したら、自転車の操作に十分に慣れるまで注意して走行してください。
購入して、1～2カ月のうちに購入したお店で初期点検を受けてください。
- ◆取扱説明書を必ず読んでください。

⚠️ このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。